

世界の楽器の音クイズと アンクルン合奏ワークショップ

Tanoshii
workshop



主な対象 小学校高学年から



所要時間 60分～

このワークショップでは、世界各国の楽器を多数活用します。前半の「世界の楽器の音クイズ」では、それまでのイメージを覆すような多種多様な楽器と出会い、多様性への気づきを促す機会とします。後半のはインドネシアの「アンクルン」の合奏に取り組むことで協働の実践に挑戦します。

① イントロダクション

Tanoshii
workshop

ワークショップを実施するエドゥケーターと学生、そして草の根プロジェクトの紹介を行います。遊びを通して多様性と協働について考えるというねらいを共有します。

② 世界の楽器の音クイズ

Tanoshii
workshop



このアクティビティでは、目を閉じて聴いた音だけを頼りに楽器を探し出します。楽器を探す際には、手を触れることができません。そのため、一つ一つの楽器を注意深く細部まで観察することが求められます。こうした活動によって、世界に多種多様な楽器があることに気づくことを促します。

③ インターミッション 「多様性と協働と」

Tanoshii
workshop



音クイズでの体験をもとに、多様であることとはどういうことなのか、考えます。そして、生活文化や人間そのものも多様であることを紹介します。さらに、異なる背景を持つ人々が共に生きる上で必要であると考えられるのが「聴く」と「協働」であり、それを意識的に実践してみようと呼びかけます。

世界にはいろんな仕組みの楽器があるんだ！触ってみるとよく分かるね！



④ インドネシアの楽器 アンクルンに挑戦

Tanoshii
workshop



いくつかのグループに分け、はじめに最低限の情報のみ提供します。そして、どうすれば全員で合奏することができるのか考え、合奏に挑戦するよう伝えます。学習者はグループ内で試行錯誤しながら考えを共有し合奏に取り組みます。

みんなの力を合わせて
合奏ができると気持ち良い！



⑤ 振り返り

Tanoshii
workshop

ワークショップ全体を振り返り、学習者からは活動を通じて気づいたこと考えたことを共有します。エドゥケーターから、活動中の様子についてフィードバックします。